

～ 開催要領 ～

1. 日 時 2026年3月4日(水) 13:00～18:20 (受付開始 12:30～)
2. 会 場 対面式(中央大学 後楽園キャンパス3号館14F) および Webexによるオンライン配信
3. 主な次第
 - (1) 主催者挨拶・次第説明 13:00～
 - (2) 講 演 13:15～16:30
テーマ①「データサイエンスの切り口からみたウェルビーイングの過去・現在・未来」(13:15～14:00)
講 師 竹内 文乃 氏 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 准教授
 - テーマ②「未来の都市のウェルビーイングを支える先端緑化技術」 (14:00～14:45)
講 師 原田 芳樹 氏 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 准教授
《休憩》
 - テーマ③「ウェルビーイングに貢献するロボティクスの実現に向けて-自動化の先にある価値創出-」 (15:00～15:45)
講 師 新妻 実保子 氏 中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授

- テーマ④「リモートワークと飲酒行動がもたらすウェルビーイングへの影響」 **【オンライン講演】** (15:45～16:30)
- 講 師 飯尾 淳 氏 中央大学 国際情報学部 国際情報学科 教授
- (3) 閉会挨拶 16:30～
 - (4) 交 流 会 16:40～18:20
5. 参加申込 参加には事前登録が必要です。りそな中小企業振興財団のこちらのサイト → <https://www.resona-fdn.or.jp/event/index/192#nav> に登録してお申込み下さい。
6. 受講環境 オンラインでのご参加の方の映像はオフ、音声はミュート設定とさせていただきます。
当日にシステム障害が発生した場合には、オンライン配信は中止とさせていただきます。
7. 禁止事項 講演資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製並びに二次加工は一切禁止しております。

～ 講師ご紹介 ～ (講演順)

◆竹内 文乃(たけうち あやの) 氏

東京大学医学部卒業・同 医学系研究科修了、博士(保健学)。
学位論文「大気中微小粒子状物質による短期健康影響の地域間差を検出するためのモデル開発」
国立環境研究所環境健康研究センター研究員、
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室専任講師(医学部)を経て
2022年より本学理工学部人間総合理工学科准教授。上級疫学専門家。
2025年日本国際博覧会(EXPO2025)大阪ヘルスケアパビリオン推進委員会アドバイザー
専門分野: 疫学統計、生物統計学

◆原田 芳樹(はらだ よしき) 氏

ハーバード大学大学院ランドスケープ学科修了。コーネル大学総合植物科学研究科にて都市緑化を研究し PhD を取得。
ジェームス・コーナー・フィールドオペレーションズ社 ニューヨーク事務所にて米国大都市の環境デザインに従事。
ハーバード大学デザイン大学院客員講師、イェール大学森林環境科学大学院及びコーネル大学都市緑化研究所のフェローを経て、中央大学理工学部人間総合理工学科に都市生態学研究室を設立。現在同准教授
専門分野: 環境デザイン、人工土壤、グリーンインフラ、グリーンビルディング

◆新妻 実保子(にいつま みほこ) 氏

2007年東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻博士課程修了、博士(工学)。
同年より東京大学生産技術研究所博士研究員。
2009年中央大学理工学部精密機械工学科助教。2013年同准教授を経て、2021年同教授 現在に至る。
2019年より運輸安全委員会非常勤委員を兼任。2019年～2021年日本ロボット学会理事、計測自動制御学会理事。
2008年計測制御学会論文賞、2012年日本機械学会奨励賞(研究)、
2015年 ACM/IEEE HRI 2015 Best Late Breaking Report Award 等を受賞。

日本ロボット学会、日本機械学会、計測自動制御学会、IEEE の会員

専門分野: 空間知能化、人-ロボットインタラクション/コラボレーション、ソーシャルロボット

◆飯尾 淳(いいお じゅん) 氏

1994年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同年(株)三菱総合研究所入社。同社主席研究員を経て、
2013年中央大学文学部社会情報学専攻、准教授、兼、理工学研究所、社会科学研究所、研究員。
2014年中央大学文学部教授、2019年中央大学国際情報学部国際情報学科教授。
2020年中央大学AI・データサイエンスセンター、所員。2021年中央大学人文科学研究所、研究員。
2023年中央大学政策文化総合研究所、研究員。2025年モンクット王工科大学ラートクラバン校 客員研究員。
博士(工学)、技術士(情報工学部門)、認定 人間中心設計専門家。
専門分野: ヒューマン・コンピュータ・インターフェースおよび人間行動分析(人間と情報システムのインターラクション)